

1946年ソ連占領下の北方領土

「日ソ混住時代の記憶」巡回展のお知らせ！

昨年サハリン州で出版された「千の島を巡る 1946年のクリル探検」と題された写真集は、ソ連占領下の北方領土でロシア人と一緒に暮らす日本人の姿が収められた写真が多数掲載され当時の様子を知る貴重なものとなりました。

平成28年度に根室振興局は、北方領土遺産発掘・継承事業の一つとして、この写真集の特別展を根室市で実施し大きな反響がありました。この度、これら写真パネルの巡回展を別海町で実施します。ぜひ、ご覧ください。

- 日 時 平成29年1月11日（水）～1月18日（水）
- 場 所 別海町図書館エトランスホール
- 開 館 火～土は、10時～18時まで、日は、10時～16時まで、月曜日は休館です。

加賀家文書歴史講座のお知らせ！

「加賀家文書」は、別海町の江戸時代末期の様子が書かれている貴重な資料です。古文書資料以外にも当時の生活用具やアイヌ民族資料が数多く残されています。本講座では、そうした資料を見ながら、当時の様子を探って行きたいと思います。



- 日 時 平成29年2月12日（日）午前10時～12時
- 場 所 郷土資料館附属施設 加賀家文書館
- 内 容 「加賀家文書等資料～古文書以外の資料について～」
※あわせて、館内の展示解説も行います。
- 定 員 15名
- 申込み 2月10日（金）までに、電話・FAX・メールなどにより、お名前・電話番号をお知らせください。

「アイヌ文化を探る！-床丹1チャシ跡発掘成果展」

出前移動展のお知らせ！

平成26年度に実施された「床丹1チャシ跡」の発掘調査の成果を中心に、アイヌ文化期に造られたチャシ跡の説明パネル、チャシ跡塚の土層剥ぎ取り資料、ジオラマなどを展示しますので、ぜひ、ご覧ください。



- 場所：西公民館ロビー
- 期間：平成29年1月16日（月）～2月17日（金）

加賀家文書館特別展「バイバル展示」

●第4弾「近世の別海を探るⅢ～野付半島篇」

～1月31日（火）まで

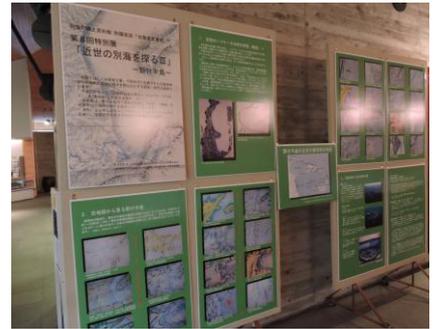
内容紹介：江戸時代の野付半島の様子やアイヌ語地名の解説等

●第5弾「西別川の献上鮭」

2月1日（水）～3月31日（金）

内容紹介：江戸の将軍に送られていた献上鮭とは？

加賀家文書館にて開催中！



オジロワシ・オオワシが多く見られる季節になりました。

雪が多く寒い毎日が続き冬本番となりました。なかなか外で活動する機会も少なくなります。

しかし、別海町は、この時期、海岸に行くと大きく羽ばたくワシ類を簡単に見ることが出来ます。

このワシは、オジロワシ、オオワシで、冬になるとサハリンやカムチャッカなどから南下し、北海道に渡ってきます。（オジロワシの一部は北海道で繁殖して通年見られます。）翼を広げると、2mから2m50cmと大型で一目でわかります。

また、その数が多く見られることに特徴があります。冬期間、野付湾や風蓮湖では、氷下待網漁が行われています。地元漁師さんは、コマイ・チカ・ワカサギ・ニシンなどを漁獲しています。周辺にはオジロワシやオオワシをはじめカラス、トビなどが群れをなしてとまっています。

漁がはじまり網が引き上げられると雑魚などはそのまま氷の上に捨てられるため、それらを狙い一斉に鳥たちは飛び立ち、獲物の争奪戦を繰り広げます。年間で多いときは約500羽のワシ類が越冬します。こうした様子を見られるのも別海町ならではの事かと思えます。



オジロワシ



オオワシ



色で見分けるとオジロワシは体全体が茶褐色で尾が白い、オオワシは、黒色で、肩と羽が白い、嘴の色も違いますね。大きさは、オオワシの方が一回り大きいです。

別海町郷土資料館だより No.210

発行日 平成29年1月6日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町 30 番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

あけまして、おめでとうございます。今年も当館をよろしく願います。さて、本当に寒く、雪が多いですね。ワシの季節になったと紹介しましたが、別海市街では、スケートリンクのところに、オジロワシのつがいがいます。いつもガアガア言ってますよ！（K.I）